教員養成に係る教育の質の向上に係る取組

○中等教育教諭養成教職課程

本学では、関係学部及び研究科の教務委員会との緊密な連携のもと、中等教育教諭養成に関して全学的な組織である「中等教育教諭養成教職課程運営委員会」が設置され、教職課程に関わる全学的な事柄に関して研究協議するとともに、必要事項を建議し、本学教職課程の運営の活性化と円滑化が図られている。また、教職課程の日常的な業務については、共通教育部・教職教育部門（教員）と教育支援センター（事務職員）がその任に当たっている。

本学の中等教育教諭養成教職課程では、教員採用試験の現状を考慮し、できるだけ中一種免と高一種免の両方を取得するよう指導している。また、教員養成に係る教育の質の向上に係る取組の一環として、中・高校での教育経験が豊かな教員を「教育の基礎的理解に関する科目等及び各教科の指導法」を担当する専任教員あるいは非常勤講師として積極的に雇用し、正規の授業科目はもちろん、「教員採用試験対策ゼミ」（後述）を設け、教員をめざす学生たちの学修を支援している。

教育実習中は、教職教育部門の教員と連携をとりながら、学生が所属する学科の教員が実習校に赴いて指導を行っている。あわせて、教育実習期間中に心配ごとや問題が生じた場合には、教職教育部門の教員や教育支援センターが随時、対応できるような体制を整えている。教育実習終了後、学生たちは学習指導、部活動指導、特別支援教育に関わるボランティア等を依頼されることも多く、各学校との信頼関係を大事にしながら、積極的に教育現場に関わり続けるように指導している。なお、こうしたボランティア活動は「共通教育部・教職教育部門」が仲介し、学生への事前事後指導を行っている。

教職への進路相談・指導に関しては、共通教育部・教職教育部門が教育支援センター、キャリア支援センターなどと情報共有をしながら進めている。学生の疑問や相談には随時、対応するとともに、教職志望者には 2 年次から必要な支援をし、3 年次後期までに専門教養・教職教養の学習指導を行っている。3 年次後期からは、「教員採用試験対策ゼミ」（自主ゼミ、週 1 回程度）を開講し、基本的な作文技術から、文献講読、場面指導、模擬授業、面接、履歴書の書き方まで幅広く指導し、採用試験対策のみならず、社会人としての資質の向上に努めている。

○幼稚園教諭養成教職課程

人間科学部には、幼稚園教諭（一種）養成課程ならびに保育士養成課程が設置されており、ほとんどの学生が卒業時に「幼稚園教諭一種免許状」ならびに「保育士資格」を取得している。学部の教育課程は、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格の取得に必要な専門科目とともに、知識に偏重しない「子育て支援」、「生活と自然」、「異文化理解」、「児童文化」、「自己表現」に関わる多彩な体験プログラムを提供し、次世代の保育者に欠くことのできない優れた保育力、実践力を培うことを目指している。

幼稚園における教育実習は、2 年次後期の 2 月に 5 日間の観察実習、3 年次後期の 2 月に 3 週間の責任実習を実施している。2 年次の幼稚園教育実習指導（1）においては 5 日間の観察実習に向け、幼稚園や幼保連携型認定こども園についての知識や子ども理解の方法、実習日誌の書き方等に関する事前指導を行い、実習終了後には学生一人一人との面談を含む事後指導を実施している。教育実習指導（1）に対応する教育実習（1）において、学生は幼稚園や幼保連携型認定こども園の現場で 5 日間の観察実習を行い、幼稚園教諭や保育教諭の仕事について学ぶ。3 年次の幼稚園教育実習指導（2）においては、3 週間の責任実習に向け、職業倫理、指導計画の立て方、実習記録の付け方等に関する事前指導を行い、実習終了後には学生一人一人との面談を含む事後指導を実施している。教育実習指導（2）に対応する教育実習（2）において、学生は幼稚園や幼保連携型認定こども園の現場で 3 週間の責任実習を行い、幼稚園教諭や保育教諭としての責任を伴う実習を行う。4 年次の後期に配される「保育・教職実践演習（幼稚園）」においては、4 年間の教職課程に関わる専門科目の修学状況を学年毎に振り返る「履修カルテ」を活用しながら現職の幼稚園教諭や保育教諭の講話を聞き、将来の幼稚園教諭や保育教諭としての自己の資質や課題についての自覚を促す機会を設けている。

本学部では、体験を重視したカリキュラムを編成するとともに、地域や子育て家庭との交流を重視し、幼児教育や保育に携わる専門職人材の育成に務めている。学内組織においては、保育・教育・児童福祉の各分野の専門教員からなる実習委員会を編成し、実習の適正な運用に努めている。また、学生の実習派遣に際しては実習業務に特化した実習指導室を設置し、実習指導室との連携を図りながら学生のサポートを行っている。さらに、教員会議においては教員間での情報共有を密に行い、全教員体制で教員養成に係る質の向上に努めている。